

ZIG-ZIG

- not worth a song -

with うたわれるもの

6
for adult only



その日…
私達の砦は
陥ちたのでした…

そして…

うたわれるもの



おー これは
エルルウさん

ずいぶんと良い
格好じゃねえの

ニヤ

もうずいぶんと
犯され慣れたんじゃ
ねえか？



毎日毎日そんなに
腔内出しされてたらなあ



…おめえが俺に
なつかないから
だぜえ







乳もオレさまのおかげで
こんなにでつかく
イヤらしくなつたしなあ

ハ
タ
キ

ぎゅっ



うるせえ馬鹿

びいあッ



ばばあの
作った薬も
役に立つじや
ねえか

ぬ



ほら 今度も
くれてやるよ

やだ...やだッ...

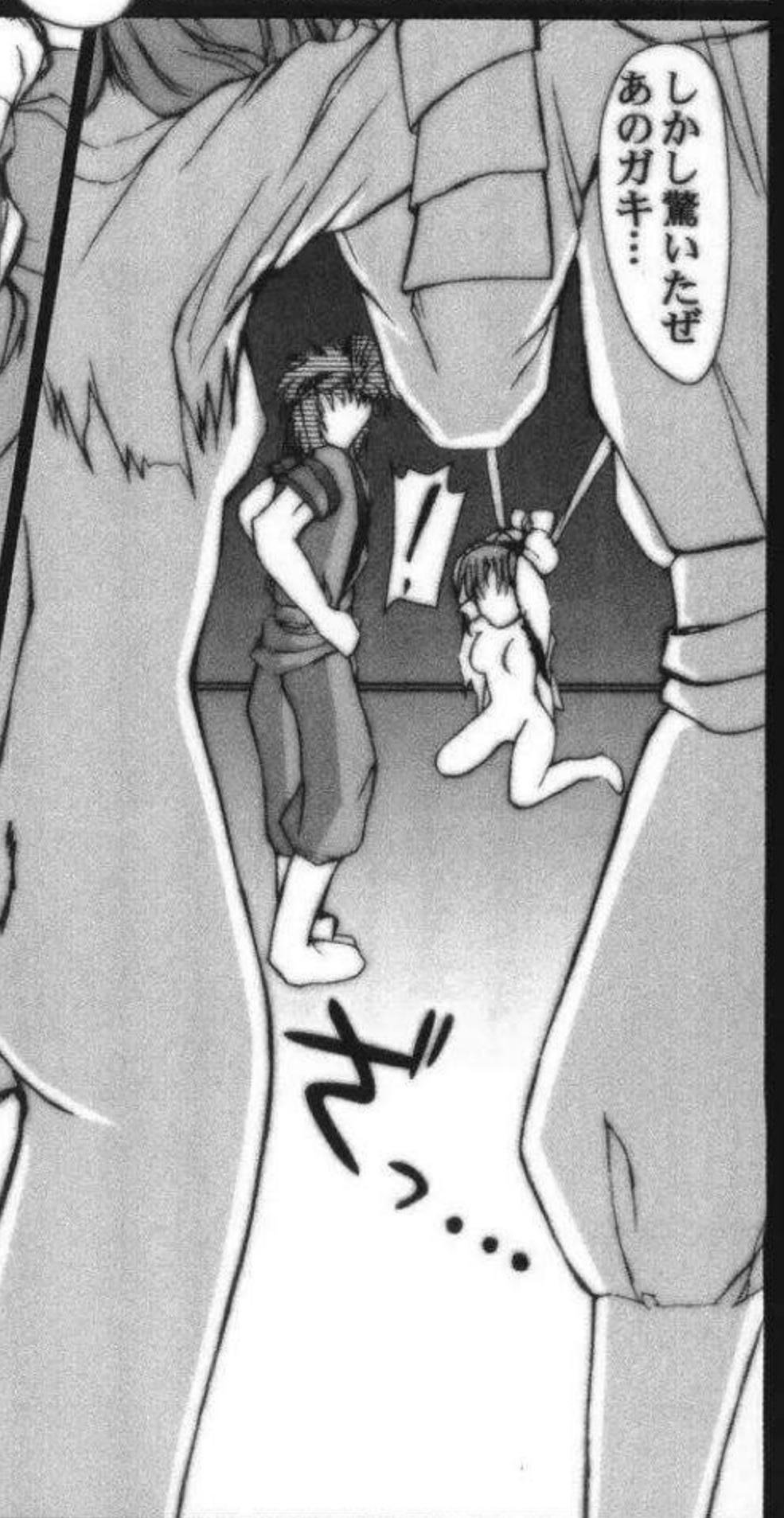
それやだあッ!!

びい

びい

びい













一度出したくらいじゃ
全然
おさまんねえってよ



せつかくだから
いれ
挿入してもらえよ

ダメツ



それだけは
やめ...



あーおー
おねえちゃんの...

穴...

ダメツ



アルルウ...

ダメツ

びと



んんんんん



あああ



あああダメツ…
ア…ルルウ…
やめ…てえ

ずい
びい
ずい
びい

はあ
ああ

あゝ
きもち…いい…
おねえちゃんの…
ぬるぬる…ひだひだ…
してる…
内か



「ユズハは…みなさまの子を…
生みたいのです…」

「ああ…みなさまの…熱いのが…
ユズハの腔内に…」

「生きた…証が欲しいの…」

「あああアツツ…」

「…んツ…ふああ…」

あ♡あ♡あ♡





「ああ……こんな……ハクオロ様……」

んっ♡
ひっ♡

「おじ様の……すっ……すっ……熱い……」

あ……
あ……

「やあ……あッ……カミュ……
やめ……て……」

はっ♡
はっ♡

「そんな……あ……は……」

「おじ様にしてもらいなよ
上手だよ」

はっ♡
あっ♡

「あッあッ……あッあッ……
ハ……クオ……ロ……さ……ま……あ……」

「あはあ……いっぱい出てる……
お姉さま……とっっても気持ち良さそう……」



「そんなことでは殿方を満足させる
ことなんてできませんことよ」

「うう…くあ…」
「そ…そう…か…」

「貴女もこうじでいれば
可愛いですのに…」

「あ…やつ…あああああッッッ」

「うふふつ…貴女、まだまだ女の体ってものを
わかっていらしてないようね…」

2002年8月頃の止田

というわけで、せっかくの総集編なので、その頃のことや、作品の思い出等を書き連ねてみましょうという企画です。

この本を出したのは、初めて商業誌に漫画が載ったり、初めてゲームの原画の仕事の頂いたりした頃でした。当時はまさか、こんなに絵を描く仕事をたくさん頂けるとは思っていませんでした。

not worth a song -

そう考えると、そんなに昔のこととは思えないのですが、もうデビューしてから3年も経つんですね…色々あったような、何もなかったような…とりあえず、絵ばかり描いていた3年間だったような気がしますです、はい。

「うたわれるもの」は、正直、大作ですが、意外と地味な良ゲーという印象でした。いや、そういうのが止田は好きなのでとてもいいのですが、やるまでのイメージとしてはもっと派手派手な露骨なギャルゲーかと思っていたので…

ボタン連打するシステムはちょっと好きです。

Takashi Yameta

published by ashitakara-gannbaru 2002